

<<<今号の目次>>>

1. 取組事例 ワーク・ライフ・バランスの推進と生産性の高い働き方へ
大和ハウス工業株式会社

2. 最新情報
《お知らせ》 2件
《地方公共団体等の動き》 11件

■□■1. 取組事例

ワーク・ライフ・バランスの推進と生産性の高い働き方へ
大和ハウス工業株式会社

当社では、人財の確保および育成、多様化する働き方に対応したワーク・ライフ・バランスの推進と生産性の高い働き方への変革が不可欠であると考えています。女性だけでなく誰もが「仕事」だけでなく「生活」をも充実させることがイノベーションの源泉となり、社員ひとり一人が能力を発揮し成長し続けることにつながります。そのための制度や取組、環境整備の充実を図っています。

■主な取組・制度の概要・特長

さまざまな制約があっても仕事との両立を図ることを主眼に置いて制度を整えています。これらの制度の周知や活用社員の紹介などを取りまとめた冊子「ダイバーシティ・レポート」を社員全員に配布し、啓発を図っています。特長のある主な制度、取組は以下の通りです。

【育児との両立支援】

- ・育児休業制度（育児休業／ハローパパ・ハローママ）：子が3歳まで取得可能。当初5日間は有給とし、男性社員が育休を取得しやすくした。
- ・育キヤリサポート制度：育児休業から早期復帰するための情報提供と、復帰後に労働時間をより確保するための時差勤務、育児・学童施設やベビーシッター等の利用補助支援
- ・育児休業復帰サポートプログラム：妊娠時～復職後までに4回、上司と本人の面談のプログラム化によりコミュニケーションを促進。
- ・次世代育成一時金制度：子1人に対して100万円を支給する制度

【誰でも使える制度】

- ・有給休暇積立制度：法定上失効する有給休暇を積み立て、必要に応じて使用できる。不妊治療にも対応
- ・時間単位有給休暇：年次有給休暇を1時間単位で使用できる制度
- ・ホームホリデー制度：家庭サービスや自身のリフレッシュ、自己啓発などを目的として年次有給休暇を計画的に取得する制度。

【業績評価の見直し】

事業所の業績評価指標に 1 人当たり時間当たりの利益を導入し、生産性の高い働き方を促進しています。

■成果

女性活躍推進法の行動計画「2020 年までに男性の育児休業取得率を 30%にする」を掲げ、2017 年度に男性社員の育児休業取得率 34.2%と目標を達成しました。生産性の高い働き方推進の成果として、同年、有給休暇取得率 55.1%、有給休暇取得日数平均 10.1 日、年間労働時間は 2,171 時間と前年度比 9 時間減、前々年度比 32 時間削減、社員一人あたりの年間所定外労働時間前年度より 10 時間削減し、企業風土改革が進んでいます。

■利用・活用した社員の声

当社は、育児・介護との両立支援制度については、期間の上限の無い介護休業や親の介護の為の帰省費用の補助など、安心して働き続けられ手厚いという外部評価をいただくことがよくあります。一方で、営業所で活躍するお子さんを持つ女性の営業、現場監督や設計からの「ガッツリ働きたい時に使えるサポートが欲しい」という声に応じて「育キャリアサポート制度」を導入しました。「『時差勤務』により時短を取らずに 8 時間働けるようになった」「残業や休日出勤の時の『ベビーシッター代補助』は助かる」など、育児中もキャリアを構築する働き方ができると評判です。

■会社情報

- ・会社名 大和ハウス工業株式会社
- ・事業内容 建設業（住宅事業、賃貸住宅事業、流通店舗事業、建築事業、マンション事業、環境エネルギー事業、海外事業など）
- ・本社所在地 大阪市北区梅田 3 丁目 3 番 5 号
- ・社員数 16,275 名（男性 13,036 名、女性 3,239 名）2018 年 4/1 時点

■□■ 2. 最新情報 ■□■

《お知らせ》

【厚生労働省】

「企業におけるイクメン・イクボス養成セミナー」を開催します

男性の育児休業や育児目的休暇の取得推進のため、育休取得のメリットや企業の取組事例などを紹介するセミナーを実施します。

このセミナーでは、企業の人事労務担当の方が社内研修に使用できる資料を使い、育休取得のポイントを分かりやすく解説します。後半のグループワークの時間では、他社の事例を聞くことで、自社の取組のヒントを得ることができます。

2018 年 10 月の開催概要は以下のとおりです。11 月以降も全国各地で開催します。

【参加無料・要事前申込み】

盛岡会場

日時 2018 年 10 月 25 日（木） 13:30～16:45

会場 エスポワールいわて 2階 大中ホール

※岩手県と共催

「いわて企業の魅力アップ支援セミナー」の冒頭に実施します。
その後、地域の企業による事例発表があります。

札幌会場

日時 2018年10月30日(火) 14:00~16:00

会場 札幌駅前ビジネススペース カンファレンスルーム 2H

※札幌市と共催

詳しくは以下のURLをご覧ください。

⇒ <https://ikumen-project.mhlw.go.jp/event/#seminar>

【厚生労働省】大分労働局

「イクメン川柳」&「STOP! マタハラ標語」を大募集!!

誰もがいきいきと働ける職場をめざし、仕事と生活の両立やハラスメント防止について考えてみませんか? 受賞作は大分労働局のホームページや広報誌(くるみん通信等)で発表させていただきます。

募集部門:(1)「イクメン川柳」部門 (2)「STOP! マタハラ標語」部門/応募方法: 応募用紙を使用の上 FAX、郵便等(お1人様何枚でも応募可)/応募締切: 平成30年11月30日(金)

<https://jsite.mhlw.go.jp/oita-roudoukyoku/content/contents/000272258.pdf>

《地方公共団体の動き》

【宮城県】仙台市

「働く女性の potluck meeting 仕事と子育て~経験をプラスに~」開催

→働き方改革が進められている今、ワーキングマザーの効率的な仕事の仕方に注目が集まっています。互いの経験を持ち寄って、両立への不安を解消しませんか?

日時: 平成30年9月29日(土) 9:00~10:30/会場: エル・ソーラ仙台 大研修室/参加

費: 1,000円(スイーツ&飲物付) ※参加費は当日受付でいただきます/申込方法: イベント

申込フォームより(先着順・定員になり次第締切)/託児: 9月20日(木)までに要申込(先着順・定員になり次第締切) ※託児対象は原則として、6ヶ月以上小1まで

http://www.sendai-l.jp/cgi-local/event_t/view.cgi?ARTICLE=on&&B_NO=CAT01&NO=1060

【山形県】

「やまがた企業イクボス同盟」加盟企業を募集しています!

→県では、企業経営者の皆様の御参画による「やまがた企業イクボス同盟」を設立し、職場で共に働く部下の仕事と家庭生活の両立を応援する「イクボス」として、相互に連携しながら、ワーク・ライフ・バランスの普及拡大を進めていくこととしております。現在、「やまがた企業イクボス同盟」に御参加いただける企業経営者の皆様を広く募集中です。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kosodatesuishin/010003/zyosei/iku-boss-doumei/iku-boss-doumei.html>

【茨城県】

『起業の一步』～自分らしく、しなやかに～

→仕事と家事の両立など時間に追われる日々の暮らし方、働き方を見直してみませんか。

日時：平成30年9月27日（木）13:30～15:30／会場：女性プラザ男女共同参画支援室／講師：一般社団法人ウーマンズキャリアプロデュース協会キャリアプロデューサー 下地くにこ氏／参加費：無料／定員：20名（先着順）県内在住・在勤の方

<http://www.pref.ibaraki.jp/bugai/josei/danjo/documents/30seminar22.pdf>

【栃木県】

「男の生活工房～作って食べて暖話して～」参加者募集中

→身近な食材で手軽な料理、舌つづみと共に気軽な語らいを。料理の楽しさを体験してみませんか。

日時：平成30年10月27日（土）・11月10日（土）・12月1日（土）・12月15日（土）10:00～14:00（全4回）／対象：男性／定員：25名／参加費：2,500円（別途材料費2,500円 ※全4回分）／申込締切：9月26日（水）／一時保育：あり（200円・1人1回）／申込締切：9月26日（水）／申込方法：電話、FAX、直接来館、講座受講申込フォーム

http://www.parti.jp/kouza/index_13.html

【神奈川県】

「かながわ女性の活躍応援サポーター」新規登録者様を掲載しました

→「かながわ女性の活躍応援サポーター」は、女性の活躍に向けて「よし、やろう！」と思い立った企業・団体等の男性トップの皆さんに自主的に御参加いただける制度です。女性の活躍を応援している男性トップの皆様、ぜひ御参加ください！

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/supporter.html>

【新潟県】

女性センター講座「チーム育児のつくり方～育児は仕事の役に立つ～」受講者募集

→『育児は仕事の役に立つ～「ワンオペ育児」から「チーム育児」へ』の著者、浜屋祐子さんを講師にお招きし、お話を伺いながら皆さんと考える時間を持ちます。

日時：平成30年9月29日（土）13:30～15:30／会場：新潟県女性センター 女性団体交流室2／定員：50人（申込先着順）／参加費：無料／申込方法：申込書をFAXか郵便で「新潟県女性財団事務局」へ送付。電話でも可。（閉館日を除く平日 8:30～17:15、土日祝日 9:00～17:00）又は、財団ホームページの「お申込みフォーム」より

<https://npwf.jp/wp-content/uploads/9fbf9fc0add308ebea629d87fa4f856b1.pdf>

【静岡県】浜松市

～男女共同参画 作品コンクール～「カジダン写真」募集

→カジダンとは、家事に積極的な男性のこと。あなたの周りにいるカジダンの写真を募集します。男性の年齢、既婚、未婚は関係なく大募集！！

対象：浜松市内在住、在勤、在学のアマチュアの方／応募方法：作品の裏面に郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・性別・電話番号・職業又は学校名・学年作品タイトル・作品の簡単な説明（50字程度）を書いて、郵送・持参・メールにて御応募ください／締切：平成30年9月18日（火）当日消印有効

<https://www.azarea-navi.jp/event/kajidan/>

【愛知県】

「男性管理職向けワークショップ」開催

→人材育成に重要な役割を担っている男性管理職・人事担当者を対象に、女性も男性も働きやすい職場の環境づくりについて、グループ形式で学ぶワークショップを開催いたします。

日程：第1回・第2回 10月18日（木）、第3回・第4回 11月1日（木）、第5回 11月8日（木）、第6回 11月22日（木）（全6回・複数講座参加可）／会場：第1・2・5回 ウィルあいち（名古屋市）、第3・4・6回 西三河総合庁舎（岡崎市）／申込方法：FAX又はメールにて／申込締切：第1～5回 9月18日（火）、第6回 10月23日（火）共に必着（定員に満たない場合は、定員に達するまで受付。定員を超える場合は抽選）

<http://www.aichi-dks.or.jp/image/pdf/dansei30.pdf>

【和歌山県】

語り合い広場「ホンネを伝える男のコミュニケーション術」受講者募集

→メンズセンタースタッフで培われたジェンダーの視点から、シニア産業カウンセラー等として活躍する講師による講演とワークショップです。肩の力を抜いて、相手にホンネをうまく伝える術を伝授していただきます。

日時：平成30年10月28日（日）10:00～12:00／会場：和歌山県男女共同参画センター“りいぶる”会議室A／申込方法：電話、メール又はFAXにて／定員：30人（先着順、定員になり次第締切）／参加料：無料／一時保育：無料（1歳から小学2年生まで）希望される場合は、10月18日（木）までにお知らせください。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031501/kouzaevent/d00155955.html>

【岡山県】

「働き方改革最前線～イクボスで離職率ダウン、人材確保～」開催

→「イクボス」とは、部下やスタッフの「ワーク・ライフ・バランス」を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績についても結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のこと。県では「イクボス」を推進するため、岡山、倉敷、津山の3会場でセミナーを開催します。

日程：平成30年10月9日（火）津山圏域雇用労働センター、10月10日（水）倉敷市男女共同参画推進センター（ウィズアップくらしき）、10月11日（木）岡山国際交流センター
／時間：14:00～16:00／参加費：無料／定員：各会場50名（先着順・要事前申込）／申込方法：FAX又はメールにて

<http://www.pref.okayama.jp/site/presssystem/570632.html>

【愛媛県】

愛媛県版イクボス「ひめボス宣言事業所」募集

→長時間労働の削減や柔軟な働き方の実現など男女ともに働きやすく、働きがいのある職場環境の整備を進め、ひいては愛媛の地域や経済を活性化するため、「ひめボス」宣言事業所を募集しています。平成30年7月31日現在、578事業所が「ひめボス」宣言を行っています。

<https://www.pref.ehime.jp/h15200/himeboss/jigyosyo.html>

【編集後記】

17日は「敬老の日」。シニアが活躍をみせる昨今、何歳から御祝いをすれば良いか迷うこともあります。実は、明確な年齢については決まっていません。「孫休暇」制度を持つ企業もあるとおり、敬老＝年寄りではなく、その経験値が、若手たちに少し

でも貢献できるようなシニアになりたいと考えています。

このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このまま御返信いただいても御答えできませんので御了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/>